

札幌社保協 FAXニュース

2014年10月23日(木)
社保協事務局 発行
TEL823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
10月30日(木)です

切実な「福祉灯油」実施を！ 手間と経費がかかるが効果が薄い？

10/7に札幌社保協・新婦人・道生連が「福祉灯油」実施を市に要望していましたが、10/21その回答がありました。はじめに3団体から1156筆の実施要望署名が渡されました。木下保健福祉局総務部長は「市長が議会で答弁した通り、手間と経費がかかるが効果は薄い。10数億という費用がかかり総合的に判断して実施はしない」と回答。

40人余の出席者からは、切実な生活の実態を訴えると共に、実施を強く望む声がたくさん出されました。高齢者は年金が下がり、消費税があがって暮らしが大変という人が大変多いと訴えがありました。

「灯油が104円/ℓという配達価格は111円にもなっており、体の悪い人や高齢者には大変な負担である」、「わずかな額では効果が無いというが、少しでも助成があれば助かる人は大勢いる」「子どもの権利条例を決めている市が、子どもに寒い思いをさせるのか」などの声が相次ぎました。

市側は「市民の苦しい状況は理解できる、市長に伝える」と述べました。3団体は引き続き市長要望署名を進め、議会への陳情も行うことも提起しました。



●会場で岡崎道生連事務局長が訴えた事例です。

年金で生活する75才の一人世帯の男性・Aさんの生活実態です。

Aさんは、厚生年金が年額159万5860円、企業年金が年額19万602円、合わせて178万6462円の年金収入で、一月にすると14万8800円です。冬場の生活保護費を若干上回っている収入です。

支出は、家賃が3万6324円、後期高齢者保健や介護保険が5300円、電気・ガスの光熱費が8900円、病院は精神科・内科・整形外科にかかっており月に1万5千円、足が悪いのでタクシーでの通院などもあり、月々の家計はギリギリの生活になっています。

アパートが古くて寒くて、昨シーズンの灯油代は、合計で7万8614円、1月で1万3千円かかりました。冬の灯油代を確保するのに、夏場からの節約が欠かせません。衣類はバザーでリサイクル品を買っています。寝るときにストーブを消すと寒くて寝れないけど、灯油代を節約するのに厚手の毛布を買って凌いでいます。また、昼間、部屋にいと灯油代がかかるので、近所の障害者施設に通所して、部屋にいないようにしています。ストーブのオーバーホールを3年に一回やるために、必要な経費を計画的に残しておかなければなりません。恒常的に所得の低い市民は、こうした節約や工夫をしながら生活しているのです。

年金者も、保育関係者も黙ってはられない

10/11札幌保育連の子育てウォーキングが行われ、父母・保育労働者・子ども達100人が保育の改善をアピールして中心街を歩きました。

10/15年金・くらし守れ！10.15宣伝とデモが行われ、年金・生活保護の削減反対、消費税増税反対等を訴えました。

